

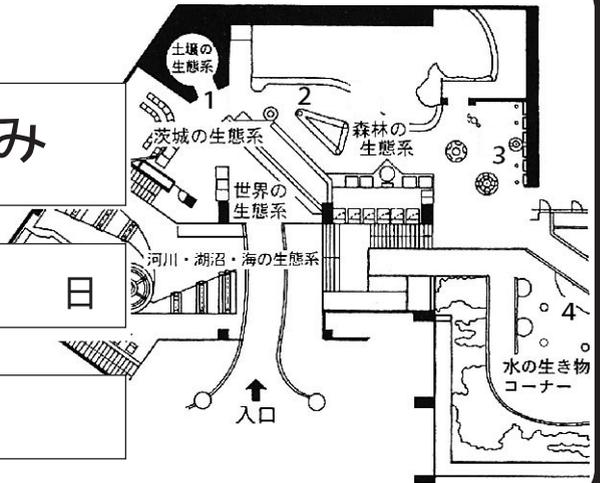


自然博物館発見ノート

3 自然のしくみ

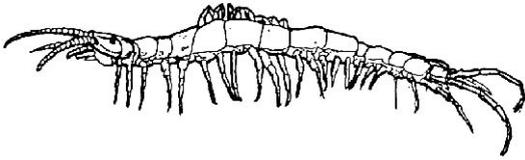
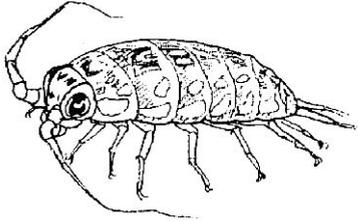
見学日 年 月 日

年 組 氏名

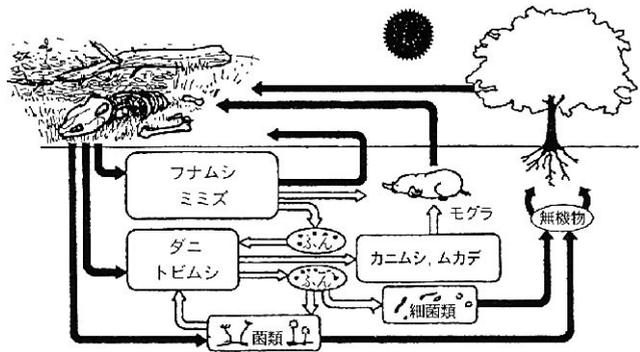


1. 「土の中の生き物」を見てみよう。

土の中や落ち葉の下には、どんな生き物がすんでいるかな。下の動物の名前と主な食べ物を調べよう。

	
名前	名前
食べ物	食べ物

ひとにぎりの土の中には、たくさんの小さな生き物がすんでいる。これらの生き物は落ち葉や、動物の死がいやフンを食べて、土にもどす大切なはたらきをしているんだ。

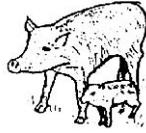


\* 落ち葉などは分解され、また植物の養分になる。

2. 「茨城の山地林」で調べよう。

この林は、茨城県の山地（ひょうこう 標高700m付近）の林を再現したものです。  
 どんなところに生き物がいるかな。

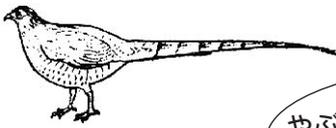
(1) 地上にいるけもの




(2) 木の上にいるけもの




(3) 地上を歩いている鳥



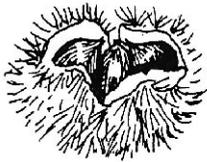

やぶの中にかくれているのもい  
 だよ。さがして見つけてね。



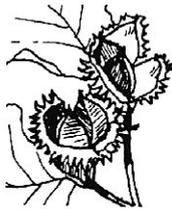
3. 「1本のブナにつく葉と実の量」を調べよう。

(1) ブナの実はどれかな。

①



②



③




(2) 直径14.4cmのブナの木には、何個くらいの実がなるのだろう。

個

(3) その木には、何枚まいくらいの葉が  
 ついているのかな。

枚



たくさんの葉がある  
 ね。この葉で作られた  
 デンプンが、木の実に  
 たくわえられるんだ。  
 これが、昆虫やリス、  
 ネズミのえさにもなる  
 んだよ。

4. 「水の生き物コーナー（<sup>すいぞくかん</sup>水族館のような展示室）で調べよう。

(1) 川や沼、湖、海には、さまざまな生き物が生活しています。

どんな所にどんな生き物が生活しているのか調べて、名前を書こう。

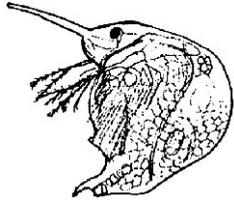
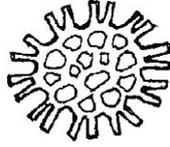
(それぞれ2種類ずつ)

場 所	魚	鳥	植 物
① 上 流			
② 沼や湖			
③ 海			

(2) 次の水の中の小さな生き物の名前を調べよう。

湖沼のジオラマの下のケースだよ



魚は、水の中にすむ小さな生き物などをえさにして生活している。中には、小魚を食べてしまう魚もいるんだよ。また、魚は水鳥のえさにもなる。みんな「食う食われる」の関係でつながっているんだね。



- 植物プランクトン
- ミカヅキモ
- 動物プランクトン
- ミジンコ
- 小魚
- 大きい魚
- 鳥

(3) 「湖沼のすがた」の水槽で調べよう。

外国からきた魚はうち次のどれかな。2種類えらぼう。左上にある

「日本に定着してしまった外来魚たち」の説明を参考にしましょう。

画像提供：アクアワールド茨城県大洗水族館



オオクチバス



ギンブナ



モツゴ



ブルーギル



もともとその地域にはいなかったのに、人間の活動によって他の地域に入ってきた生物を「外来種」といいます。

湖沼の水槽では、外国からきたいろいろな魚類が見られるよ。



(4) 「アニマルボイス」を聞いてみよう。

水辺でくらすカエルはどんな鳴き声かな。アニマルボイスのボタンを操作して、聞こえたカエルの鳴き声を書いてみよう。



カジカガエル



シュレーゲルアオガエル



トウキョウダルマガエル



ウシガエル